



秋の風が涼しく過ごしやすい季節になりましたね。お変わりありませんか？  
運動会もあり、秋祭りが開かれた地域もあり、久しぶりの出会いもあったのではないのでしょうか。  
まだあだ日中は暑い日もあります。半袖か長袖か・季節の変わり目は体調が崩れやすいです。ご自愛くださいね。

## 令和7年度 第2回福祉委員会を開催しました

市島地域 9月9日・10日  
春日地域 9月17日・18日

福祉委員の役割、福祉バザー、赤い羽根共同募金運動の説明と、高齢者疑似体験を行いました。



～福祉委員さんの感想・ご意見～

- ・（体験中は）自分のことで精いっぱいになり周りが見えなかった。
- ・困っているけど言えない人もいるのかなと感じた。
- ・普段の生活の中で当たり前のことが当たり前でないことが分かった。
- ・地域のつながりが大事だと思って、積極的に声かけをしている。
- ・地域の身近な存在として、気軽に話してもらえることが大事だと思った。

## 福祉委員さんは「地域のパイプ役」



これからもよろしく  
お願いします！

各自治会において1名～数名を選出いただき、社協会長が委嘱しています。（任期は2年）  
「地域でできる身近な支援」を行うため、地域の福祉活動に取り組んでいただいています。  
社協から福祉委員さんをお願いしている役割は、

- ①気づき：自治会の身近な範囲で、見守りや声かけを通じ、ちょっとした変化に気づく
- ②交流：自治会や地域の集いの場（サロン、カフェ等）への参加・交流・お手伝い
- ③つなげる：地域の福祉情報を住民に伝える、困っている人を自治会や民生児童委員、専門機関につなげる、福祉を学ぶ機会を作る、社協行事への参加・協力など





# やさいの“やさしさ”が届くまち。

～善意銀行から広がる輪～

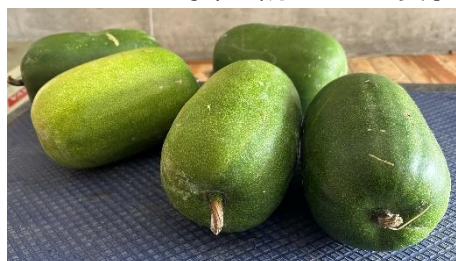
春日地域では地域の皆さんから善意銀行へお預けいただいた野菜を、地域の福祉施設やこども園、食事にお困りの方などにお届けしています。

どの野菜も、手間ひまかけて育てられたものばかり。受け取られた施設の職員や利用者の皆さんからは、「新鮮でおいしい」「季節を感じられてうれしい」と、喜びの声が寄せられています。畑で育った野菜が、笑顔を届ける——そんな“思いやりの循環”が広がっています。

善意を寄せてくださる皆さまに、心より感謝いたします。



↑いただいた野菜で調理された食事を食べる利用者の皆さん



↑預託いただいた立派な冬瓜とキャベツ



←天ぷらにされたカボチャ

預託されたスイカをほおぼる園児→



## 美和地区で支えあいの会議がリスタート

このたび中断していた「美和地区生活支援サービス推進会議」が、この度再開しました。

新しく委員になられた出席者もあり、たくさんの取り組みが身の回りにあったことを振り返りました。

「知らなかった」という感想や「困りごとについて取り組んできたことが改めて分かった」という方もあり、今後も継続して開催していきたいと思います。



「将来の美和地区を良くしていくために協力していこう！」と力強い呼びかけを会議の代表がされました。

### 生活支援サービス推進会議に向けて アンケート

調査日：令和7年8月23日～31日

地域で抱えている問題点

☆高齢化・独居化が進み、地域とのかかわりが薄れつつある。

☆お一人暮らし世帯が増えている。  
日々の声掛けや見守りが必要ではないか

(一部抜粋)

☆会議前には各自治会へ困りごとのアンケートを実施しました。

過去のアンケートも活かし、今後の取り組みや課題設定に役立てます。

